

百人一首 上の句と下の句を線で繋ぎましょう ⑫

ちはやぶる
神代も聞かず
竜田川

住の江の
岸に寄る波
よるさへや

しのぶれど
色に出でにけり
わが恋は

恋すてふ
わが名はまだき
立ちにけり

契りきな
かたみに袖を
しぼりつつ

心にも
あらで憂き夜に
長らへば

ものや思ふと
人の問ふまで

からくれなゐに
水くくるとは

恋しかるべき
夜半の月かな

夢の通ひ路
人目よくらむ

人知れずこそ
思ひそめしか

末の松山
波越さじとは